

連携診療所向け季刊情報誌

TOWA 架け橋

2023.04

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

CONTENTS

- ①ご挨拶 / 呼吸器内科・外科部長 大迫 努
- ②●「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」対応 ●SAS検査
- ③頭痛外来
- ④新入職医師のご紹介

お問合せ 地域連携室

第一 東和会病院 TEL: 072-671-1118(直通)

第二 東和会病院 TEL: 072-674-1008(代表)

東和会いばらき病院 TEL: 072-623-0234(代表)



ご挨拶

第一東和会病院
呼吸器内科・外科部長

大迫 努



今年の冬はいつもより雪が多く、交通障害の一ニュースもよく聞かれました。降雪が多かった分、春の花々が美しく咲いています。

2月から第一東和会病院に着任致しました呼吸器内科・外科の大迫努と申します。中高校時代を過ぎました高槻の地に何十年ぶりに戻ってきました。今まで大阪医科大学病院の先生方が御尽力されてきました、呼吸器内科・外科をより充実させるためです。国立や市立病院に30年近く勤めてまいりましたが、不慣れなこともありますので指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、当科で取り扱っている最も重要な疾患は「肺癌」でしょう。がんの中でも治療成績は悪く、死亡者数も多いのですが、早期発見すれば、ほぼ治る病気です。ただ無症状の期間が長いので診断が遅れることが多いです。消化器のがんは、胃・大腸カメラなどの内視鏡検査で診

断されることが多いですが、肺癌も、普通は気管支鏡検査（いわゆる肺カメラ）で診断を行います。しかし確定診断が困難なことも少なくあります。そのため超音波を併用した気管支鏡やCTを用いて腫瘤を直接穿刺して診断するなどの方法もあります。これほど診断にじだわるのは、診断が治療の選択に直接結びつくからです。がんの種類、腺癌・扁平上皮癌などの細胞型のみでなく、遺伝子の EGFR, PDL-1 などの検査も必須です。もともと進行した状態で見つかることも多く、それだけ診断が重要となります。

手術適応の無い患者さまには、抗癌剤や放射線治療を行います。従来の細胞障害性抗癌剤以外に、免疫療法も用いられるようになってきました。後の2剤は従来の抗癌剤と区別をするために、ミサイル療法として、正常細胞を傷つけないで、

治療といわれています。それでも間質性肺炎、糖尿病や甲状腺機能障害など、従来の薬剤と違った副作用がありますが、頻度は少なく、多くはそのまま治療が続けられます。

1cm以下の小さな肺癌（図）の

場合、様子は全く違います。切除することで、ほとんど再発しません。では「がん」死亡者数のなかで、なぜ肺癌が男性ではトップで女性では2番目なのでしょうか。それは喫煙と、先述した症状の出にくさ・診断の難しさによるものでしよう。喫煙は電子たばこに変わってきましたが、死亡者はわずかしか減少しておりません。また、最近はたばこを吸つたことのない、家族に喫煙者もない女性の患者も増えています。

たが、死亡者はわずかしか減少しません。また、最近はたばこを吸つたことのない、家族に喫煙者もない女性の患者も増えています。



るようです。原因はまだ十分にわかつておりません。50歳代の比較的若い人も少なくありませんので、たばこを吸っていないからといつて安心はできません。

症状としては咳、痰、血痰、呼

吸困難や胸痛など様々です。その多くは進行したときに出現します。そうなるとやはり日頃の健康診断が大切で、特に重喫煙者では必須です。また、健診では胸部レントゲン検査が多いと思いますが、小型肺癌は見つけにくく、それを補うのがCT検査です。この検査で5mmの肺癌を診断して、切除した経験があります。もちろんその患者は、無症状で、胸部レントゲン検査では異常は認めませんでした。10年以上前のことですが、再発もなく元気に過ごされています。

早期発見できれば、肺癌は治すことができる病気です。早期発見と確定診断でガイドラインに沿った適切な治療を行うことが重要です。

当院でもがん診療拠点病院としての診療体制を行なうことが重要です。まのお力になれるよう、頑張りました。宜しくお願い申し上げます。

●「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」

●SAS検査

第一東和会病院
循環器内科部長
福西 貴代



当院の循環器内科で施行していくます検査について紹介いたします。

①「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」のMRI検査

2000年より、心臓ペースメーカー植込み患者さまでも「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」が開発され、MRI検査を受けていただくことができるようになりました。当院では、施設基準を取得していますので、「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」の患者さまに対するMRI検査が可能です。認定医師・MRI技師・臨床工学技士がチームとなってMRI検査を行います。当院で対応している機種は、Abbott社製Medtronic社製の「条件付きMRI対応心臓ペースメーカー」となります。検査を受けるにあたっては、以下の条件があります。検査直

前には、ペースメーカーの設定変更が必要となります。機種によってることもありますので、まずは、地域連携室にお問い合わせください。

また、植込み術もしておりますので、お気軽にご相談ください。

IT・PHOTO CARD	
条件付きMRI対応ベースメーカーカード	
患者氏名:	JAN2915
緊急連絡先:	
植込病院:	
病院連絡先:	診療科名:
植込みモデル:	製造番号:
植込み日:	植込み日:
植込みモード:	製造番号:
植込み日:	植込み日:

条件付きMRI対応心臓ペースメーカーカード

【図①】簡易無呼吸モニター



【図②】終夜睡眠ポリグラフィー



- いびきが激しい
- 昼間の眠気
- 治療抵抗性高血圧
- コントロール不良の糖尿病
- コントロール不良の脂質異常症

ひとつでも当てはまる場合は、当院のSAS外来に紹介ください。

SAS外来【金曜日】14:00~16:00
予約制 TEL:072-671-1118(地域連携室)

当院では、SAS外来簡易無呼吸モニター検査・入院での PSG 検査を行っています。
SASは、睡眠中の気道の閉塞や狭窄による呼吸障害のため、低酸素状態を発生し、高血圧・脳卒中・心筋梗死

のASが潜んでいる可能性があり、SASを疑い、精査加療に結びつけていくことが重要になります。SASの診断は、まず、外来での簡易無呼吸モニター(図①)を使用スクリーニングを行います。無呼吸低呼吸指数(AHI : apnea-hypopnea index)が1回以上一時間の場合は、泊入院で、終夜睡眠ポリグラフィー(PSG : poly-somnography)(図②)を施行し、診断・治療方針を決定します。検査の結果、治療が必要な方には、経鼻的持続陽圧呼吸(CPAP : continuous positive airway pressure)の導入や口腔内装置(OA : oral appliance)の適応の方には、口腔外科への紹介を行っていきますので、お気軽にご相談ください。今後とも、どうぞよろしくお願い申上げます。

頭痛外来

大阪医科大学 功労教授 木村 文治

(日本頭痛学会認定頭痛専門医・神経内科専門医・脳卒中専門医)



クモ膜下出血など器質性頭痛（二次性頭痛）が否定された場合、その頭痛は機能性頭痛（二次性頭痛）と呼ばれます。二次性頭痛には緊張型頭痛・片頭痛・神經痛性頭痛などが含まれます。その中で、片頭痛は推定約840万人が抱える慢性疾患です。片頭痛による社会的損失は、遅刻や早退、就労困難、欠勤、休職など膨大です。元来、片頭痛は女性に多く認められ、女性の社会進出の妨げになる要因の一つとも考えられます。治療の進歩により、単にNSAIDを服用するのみであった頭痛治療から、トリプタン製剤による急性期頓挫薬治療、ロメリジンやバルプロ酸による予防治療が認可されました。それに加え、最近認可されたカルシトニン遺伝子関連ペプチド(calcitonin gene-related peptide; CGRP)関連抗体薬は CGRP の生理作用に基づく

き開発された画期的な片頭痛予防注射薬です。従来薬で対応困難な患者さまにも良好な結果が得られ、既に多数の片頭痛患者さまに導入しています。当院では、高槻・三島地域で唯一の頭痛専門医による「頭痛外来」を開設していますので、何なりとご相談いただければ幸いです。

Life (ライフ) には

「生命・生活・人生」と3つの意味があります。

片頭痛は「生命」予後には影響しませんが、

その「生活」を妨げ、長期に渡り

「人生」の営みを妨げる要因です。

New Staff
introduction

新入職医師のご紹介



【麻酔科】
西尾 晃司 医師
にしお こうじ



【麻酔科】
片渕 遥 医師
かたぶち はるか

日々、安全な麻酔を心がけて頑張ります。



【皮膚科】
中島 有香 医師
なかじま ゆうか

一般皮膚科の外来に加え、東和会クリニックでの美容皮膚科の勤務も始まるので、患者さまに満足していただけるよう日々勉強に励みたいと思います。



【泌尿器科】
稻田 光亮 医師
いなだ ひろゆき

一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



【消化器内科】
青山 直人 医師
あおやま なおと

後期研修医として、一所懸命頑張ります。宜しくお願い致します。



【消化器内科】
森川 和哉 医師
もりかわ かずや

患者さま一人一人に寄り添つて医療を提供できるよう、日々精進して参ります。